

5・6年生の学習発表 「市木の未来を創造する」が できるまで

Q 発表のきっかけは何だったのですか？

5月に「社会は変えられると思いますか」という質問をしたことがありました。その時の回答です。

→ 変えられる 3名

世界中の人と協力して世界を変える／夢をあきらめなかったらいつか変わる／あきらめていたらできるものもできない

→ 変えられない 12名

大人が決める／現実が甘くない／1人じゃ無理／普通の人は結局あきらめる／人は自分の事しか考えない／そんな権力はない／別に変えたいと思っていない など

! 変える方法は何か？

変えたい人の意見に賛成する／偉い人に助けをもらう／天才を生み出す／上の人に話す／人間を消す など

そこで「自分たちには、社会を変える力がある！」と実感できる機会が必要だと考え、9月から総合的な学習の時間で、身近な地域である市木について取り上げることにしました。

Q 学習はどのように行ったのですか？

まずは親、地域、児童にインタビューして、市木の課題を洗い出していきました。その後、インタビュー結果を分析し、解決事例を探し、提案を作っていました。最初のころの生徒たちは、市木のことを調べたいとか、よくなってほしいとは思っていません

子どもたちの「自分たちの力で市木を変えるんだ」という、まっすぐで力強いエネルギーは、保護者たちの心を大きく動かししました。この発表ができるまでに、子どもたちにはどんな思いがあったのでしょうか？ 担任の末吉徹郎先生にお話を聞きました。

んでしたが、調査したり、話し合ったりする過程で、「市木の未来がよりよくなってほしい」、「子どもが増えてほしい」、「市木を守りたい」などの思いが生まれてきました。

Q 発表後の生徒たちは？

5月と同じ「社会は変えられると思いますか」という質問をしました（1名は長期欠席のため回答なし）

→ 変えられる 12名

少しずつ変えようと行動におこせばいい／この前のプレゼンで変えたと思うから。自分たちが思ったことを言い、行動に起こせばいい／1人で何かしていても変えられない。人の協力があればできる／全ては無理でも、市木は変わってきている。変えられる可能性はある など

→ 変えられない 2名

自分では何もできない／全員が人の話を聞くわけではない

→ 分からない 1名

! 変える方法は何か？

・地道に少しずつ、まずは自分の思いをみんなに伝える／思いをみんなに伝える／変えることを見つけて自分でやる／仲間を集める／まず市木から変えていく など

発表の後は、問題を自分のこととして、当事者意識を持って、仲間たちと協力して世界を変える意識が芽生えました！



子どもたちに社会を変えられる！という意識が出たのは、
親や地域の方たちが子どもたちの思いに共感して、
実際に行動を起こしてくれているから。
子どもは大人の鏡



編集後記



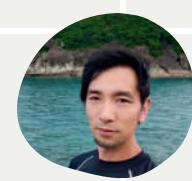
卒業おめでとうございます。皆さんの協力を得て、卒業生ページができました。ありがとうございます○日高まゆみ



可愛らしかった皆さんが頼もしくなって！自分だけの素晴らしい人生に向かってGO！わくわくしながら楽しんでね！応援しています！♡○吉川文



最近うれしかったことは、畑の雑草の種類が増えたことです○高橋悠希



皆の絵をまとめながら子ども時代を思い出したでござる。吾輩も図工だけ大得意でござった○高橋素晴



初めての市木小学校での持久走大会。初めてのPTA新聞作成。ドキドキしながら取り組みましたが、色んな方に助けて頂き何とか完成しました。子ども達の真剣な眼差しと青空、美しいあの瞬間が少しでも伝われば幸いです○野村美佳



市木に交流ランウンジの出現。子どもたちが自由に待ち合わせして遊べる場に感謝！そして、ランウンジで編み物会を開いてみたら…地域の方と子どもたちとの素敵な交流がうまれましたよ○谷端晶子



学習発表会に感動したので、気合いを入れて制作しました。君たちの情熱、確かに受け取ったんだぜ！また子どもたちと一緒にPTA新聞作りしたいな。ヘアバンドの編集長より○水野千乃